

平成28年度
東京都市大学緑土会
総会・懇親会

東京都市大学 世田谷キャンパス
平成28年11月12日(土)

平成28年度 緑土会 役員・代表幹事・学年幹事

OB会役職名	氏名	OB会役職名	氏名	OB会役職名	氏名
会長	草柳 俊二	学年幹事 (S45)	尾作 和男	学年幹事 (H08)	武田 大輔
副会長	小林 哲男	学年幹事 (S45)	小林 幹雄	学年幹事 (H08)	上谷 丈和
副会長	皆川 勝	学年幹事 (S45)	鈴木 利明	学年幹事 (H09)	安達 好彦
総務部長	丸山 收	学年幹事 (S46)	豊田 哲也	学年幹事 (H09)	金田 尚志
総務担当	伊藤 和也	学年幹事 (S46)	野田 孝男	学年幹事 (H10)	五艘 裕志
監事	菊地 孝明	学年幹事 (S47)	大野 積	学年幹事 (H10)	保科 涼子
監事	高田 真人	学年幹事 (S47)	小林 哲男	学年幹事 (H11)	中村 聡
顧問	小玉 克己	学年幹事 (S48)	石井 清	学年幹事 (H11)	藤谷 健
顧問	中部 恭二	学年幹事 (S48)	新矢 邦彰	学年幹事 (H11)	山本 成昭
顧問	松下 正勝	学年幹事 (S49)	伊田 登喜三郎	学年幹事 (H12)	久保田 融
代表幹事 (顧問)	山田 秋夫	学年幹事 (S49)	木村 充男	学年幹事 (H12)	渡辺 修吾
代表幹事 (顧問)	船越 靖彦	学年幹事 (S50)	神田 彰久	学年幹事 (H13)	大井 幸太
代表幹事 (副部会長)	進藤 敏則	学年幹事 (S50)	辻口 正廣	学年幹事 (H13)	土井 雄司
代表幹事 (顧問)	高橋 年秋	学年幹事 (S50)	由井 洋三	学年幹事 (H14)	伊藤 夏子
代表幹事 (部会長)	平本 公男	学年幹事 (S51)	鈴木 良春	学年幹事 (H14)	五明 賢
代表幹事 (顧問)	鈴木 高志	学年幹事 (S51)	松浦 弦三郎	学年幹事 (H15)	中島 健藏
代表幹事 (副部会長)	松尾 史朗	学年幹事 (S52)	岡村 和之	学年幹事 (H15)	松村 崇
代表幹事 (副部会長)	萩原 秀司	学年幹事 (S52)	谷田 孝二	学年幹事 (H16)	新井 健司
代表幹事 (部会長)	黒沼 良彰	学年幹事 (S53)	浅井 俊行	学年幹事 (H16)	鈴木 澄音
代表幹事 (顧問)	木村 充男	学年幹事 (S53)	小穴 敏行	学年幹事 (H17)	伊藤 聖
代表幹事 (副部会長)	小田嶋 裕	学年幹事 (S54)	澤田 晃	学年幹事 (H17)	丸山 健司
代表幹事 (副部会長)	太田 一三	学年幹事 (S54)	林 克彦	学年幹事 (H18)	横山 康子
代表幹事 (部会長)	高橋 禎夫	学年幹事 (S55)	今井 新一郎	学年幹事 (H18)	板倉 真里佳
代表幹事 (顧問)	丸山 信	学年幹事 (S55)	進藤 敏則	学年幹事 (H19)	佐藤 陽平
代表幹事 (副部会長)	勝田 博敏	学年幹事 (S55)	渡部 秀樹	学年幹事 (H19)	菅原 充
代表幹事 (副部会長)	谷田 孝二	学年幹事 (S56)	石川 善信	学年幹事 (H20)	栗田 悠史
学年幹事 (S18)	西野 正	学年幹事 (S56)	太田 一三	学年幹事 (H20)	黒部 和弘
学年幹事 (S19)	小川 清	学年幹事 (S57)	安藤 慎一郎	学年幹事 (H20)	長谷川 茂生
学年幹事 (S20)	坂倉 正二	学年幹事 (S57)	高橋 禎夫	学年幹事 (H21)	宇高 雄大
学年幹事 (S23)	保坂 誠治	学年幹事 (S58)	渋沢 重彦	学年幹事 (H21)	中沢 雄太
学年幹事 (S25)	鎌田 省一	学年幹事 (S58)	萩原 秀司	学年幹事 (H21)	渡邊 寛隆
学年幹事 (S27)	高橋 壯	学年幹事 (S59)	勝田 博敏	学年幹事 (H22)	近野 正彦
学年幹事 (S32)	八木 利夫	学年幹事 (S59)	佐久間 信夫	学年幹事 (H22)	松井 厚一郎
学年幹事 (S33)	田寺 儉治	学年幹事 (S60)	佐藤 貢一	学年幹事 (H22)	山極 政行
学年幹事 (S34)	石田 統男	学年幹事 (S60)	樋口 達也	学年幹事 (H23)	梅田 悠輔
学年幹事 (S34)	谷川 操一	学年幹事 (S61)	高橋 利明	学年幹事 (H23)	小川 達也
学年幹事 (S35)	和泉 四郎	学年幹事 (S61)	長谷川 雅也	学年幹事 (H23)	草柳 満
学年幹事 (S35)	土屋 登志明	学年幹事 (S61)	目黒 公郎	学年幹事 (H24)	青木 大夢
学年幹事 (S35)	山田 秋夫	学年幹事 (S62)	土橋 功	学年幹事 (H24)	小松 陸
学年幹事 (S36)	府川 好夫	学年幹事 (S62)	松本 辰男	学年幹事 (H24)	溝本 優介
学年幹事 (S36)	横岡 武之	学年幹事 (S63)	穴沢 康之	学年幹事 (H25)	木村 健太郎
学年幹事 (S37)	有馬 禎男	学年幹事 (S63)	谷口 敦	学年幹事 (H25)	吉野 広汰
学年幹事 (S37)	長島 睦	学年幹事 (H01)	小林 正裕	学年幹事 (H25)	高橋 優輔
学年幹事 (S38)	巽 良雄	学年幹事 (H01)	平井 卓	学年幹事 (H26)	上村 健太郎
学年幹事 (S38)	新垣 辰夫	学年幹事 (H02)	江夏 輝行	学年幹事 (H26)	新倉 大輔
学年幹事 (S39)	今井 洽	学年幹事 (H02)	椿 雅俊	学年幹事 (H26)	酒井 駿治
学年幹事 (S39)	高橋 信夫	学年幹事 (H02)	吉川 直志	学年幹事 (H28)	鈴木 直人
学年幹事 (S40)	形山 嘉宏	学年幹事 (H03)	小林 正弘	学年幹事 (H28)	渡邊 和貴
学年幹事 (S40)	田中 昭男	学年幹事 (H03)	渡邊 康之	学年幹事 (H28)	池田 香澄
学年幹事 (S41)	五艘 章	学年幹事 (H04)	永尾 浩一		
学年幹事 (S41)	船越 靖彦	学年幹事 (H04)	服部 尚道		
学年幹事 (S42)	川口 勝弘	学年幹事 (H05)	岩田 克司		
学年幹事 (S43)	小林 康弘	学年幹事 (H05)	高橋 実		
学年幹事 (S43)	山角 正	学年幹事 (H06)	加藤 晴子		
学年幹事 (S44)	青木 良雅	学年幹事 (H06)	尊鉢 丈裕		
学年幹事 (S44)	中埜 豊	学年幹事 (H07)	有馬 敬幸		
学年幹事 (S44)	畠山 義昭	学年幹事 (H07)	茅野 秀徳		

議 事 次 第

1. 会長挨拶

草柳会長

2. 議事

(1) 議長選出

(2) 平成27年度経過報告

丸山総務部長

(3) 平成27年度会計報告

皆川副会長

監査報告

菊地・高田監事

(4) 会則変更の件

皆川副会長

(5) 役員・幹事・部会長等交代の件

丸山総務部長

監事：高田真人氏 (S54) → 永尾浩一氏 (H04)

総務担当：三浦聡氏 (S59) → 渋沢重彦氏 (S58), 服部尚道氏 (H04)

会計担当：皆川勝氏 (S54) → 伊藤和也氏 (H10)

(6) 新幹事補充および幹事交代の件

丸山総務部長

・平成28年度 新幹事案

蓮沼 佑晃 (東京都市大学大学院, 地盤環境研究室)

野坂 翔 (東京都市大学大学院, 構造安全研究室)

太田 勝也 (東京都市大学大学院, 計画マネジメント研究室)

・学年幹事に関しては、会則変更後に、適宜見直していくこととする。

3. 報告事項

(1) 来年度の総会・懇親会

平成29年11月11日(土)に母校で開催

(2) 学生支援会企画 業界研究会 5月～6月頃開催予定

平成27年度経過報告

期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

平成27年

- 4月 2日 [木] 東京都市大学入学式 [役員出席]
- 6月 20日 [土] 東京都市大学校友会総会 [役員出席]
- 10月 7日 [水] 学生支援会企画 業界研究会開催 (在学生・緑土会会員参加)
- 11月 13日 [金] 緑土会定期総会 [私学会館・アルカディア市ヶ谷]

緑土会プロジェクトマネジメントセミナー（渋谷サテライトクラス）を4回開催
各部会委員会の開催（校友会ホームページ>各科同窓会>緑土会を参照）

平成28年

- 3月 19日 [土] 学位授与式 [皆川副会長出席・緑土会各賞授与・祝辞]
学科謝恩会 [役員出席]

緑土会賞授与

- 鈴木 健吾（構造安全工学研究室，東京都市大学大学院へ進学）
- 野坂 翔（構造安全工学研究室，東京都市大学大学院へ進学）
- 滝浦 駿介（地盤環境工学研究室，東京都市大学大学院へ進学）

大学院修士課程修士論文発表会優秀発表者表彰

- 上村 健太郎（地盤環境工学研究室，東京都市大学大学院博士課程に進学）
- 石垣 拓也（地盤環境工学研究室，日鉄住金建材(株)に就職）
- 丸林 修（水圏環境工学研究室，明電舎に就職）

平成27年度 会計報告および監査

平成27年度の会計報告

期間:平成27年4月1日より平成28年3月31日

経常費

収入	前年度繰越	4,926,883	支出	設備備品費	0
	総会会費	568,000		消耗品費	4,521
	総会祝い金	58,000		人件費	62,000
	新入会員会費	525,000		通信費	231,739
	定額貯金満期利息	0		会合費	97,126
	普通預金利息	112		慶弔費	48,772
	校友会支援	150,000		総会費	678,514
	貸与金返還			その他	36,168
計		6,227,995			1,158,840
	残額	5,069,155 円		次年度へ繰越	


学術文化基金

収入	前年度繰越	2,696,444	支出	設備備品費	915
	定額貯金満期利息	0		消耗品費	12604
	普通預金利息	40		人件費	123000
	セミナー	218,000		奨学金	50000
	校友会支援	320,000		通信費	0
				会合費	0
				セミナー経費	231528
				緑土会賞	60000
				その他	2392
計		3,234,484			480,439
	残額	2,754,045 円		次年度へ繰越	

名簿会計

収入	前年度繰越金	1,912,733	支出	制作費	0
	名簿購入			印刷費	0
	普通利息	6		通信費	0
	定額満期利息			学術文化基金へ貸出	0
				その他	0
計		1,912,739			0
	残額	1,912,739 円		次年度へ繰越	

平成28年10月21日

監事 菊地孝明 

監事 高田真人 

平成 28 年 11 月 12 日

東京都市大学緑土会会則改定案の概要

	現行	改定案
副会長の役割	会長の補佐	会長の補佐と会長からの委託業務の遂行.
幹事	幹事	学年幹事. 学年の互選が原則で, それが無理な場合総務部長が指名.
代表幹事	幹事より指名	代表幹事は, 総務会の議を経て, 総務部長が正会員より指名. 学年幹事とは別に.
各会の招集・議長	定めなし	会ごとに規定.
総会の成立	定めなし	総会は会長の発議によって開催される. ただし, 幹事の過半数が開催不賛成の意思表示をした時は開催されない.
定例総会の審議	定めなし	前年度の事業報告・決算. 当該年度事業計画・予算は報告事項.
幹事会の成立	定めなし	学年幹事の過半数の出席により成立, 議事は出席学年幹事の2分の1以上により決する.
定例幹事会の審議	定めなし	事業報告・決算, 次年度の事業計画・予算.
拡大総務会	定めなし	必要に応じ副会長、各部会長を加えて開催する総務会.
学生会員への謝金	定めなし	会務で学生会員に緑土会業務を依頼する場合には謝礼支払い. (幹事会申し合わせ: 大学のアルバイトと同程度以上の単価)
学術文化基金	章立て	削除 (学術文化基金会計を閉じる.)
名簿	整理発行	「整理」とし, 「発行」を削除. (名簿会計を閉じる.)

東京都市大学緑土会会則 変更部分新旧対照表

改 正 案	現 行																																				
<p>第1章 総則</p> <p>(名称)</p> <p>第1条 本会は、「東京都市大学緑土会」と称する。ただし、広報上は、「東京都市大学（旧武蔵工業大学）緑土会」と称することを原則とする。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 本会は、会員相互の親睦をはかるとともに、学術・文化の向上と東京都市大学の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>(設立)</p> <p>第3条 本会は、昭和4年9月1日に開校された武蔵高等工科学校土木工学科の同窓会組織として、昭和5年10月1日に設立された。その後、学校名称は、武蔵高等工業学校、武蔵工業専門学校、武蔵工業大学と変遷し、平成19年4月1日に東京都市大学となった。</p> <p>(所在地)</p> <p>第4条 本会の事務局は、東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学工学部都市工学教室内に置く。</p> <p>第2章 組織</p> <p>(会員)</p> <p>第5条 本会は、正会員、学生会員及び特別会員をもって組織する。</p> <p>2 正会員は以下の各項のいずれかのもので、会費を納入したものとす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都市大学工学部都市工学科および、武蔵工業大学とその前身校の土木系学科の卒業生 ・東京都市大学大学院都市工学専攻あるいは都市基盤工学専攻および、武蔵工業大学大学院土木系専攻の修了生 ・東京都市大学あるいは武蔵工業大学にて論文提出により学位を取得したもので、本人が入会を希望し、幹事会の承認を経て所定の手続きをしたもの <p>3 学生会員は、東京都市大学工学部都市工学科在籍学生および、他大学を卒業した本学大学院都市工学専攻在籍学生とする。</p> <p>4 特別会員は、以下のいずれかのもので、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都市大学工学部都市工学科および、武蔵工業大学とその前身校の土木系学科の現旧専任教職員 ・東京都市大学大学院都市工学専攻あるいは都市基盤工学専攻および、武蔵工業大学土木系専攻の現旧専任教職員 ・東京都市大学あるいは武蔵工業大学を途中退学したもので、本人が入会を希望し、幹事会の承認を経て所定の手続きをしたもの ・本会の目的に賛同し、正会員によって推薦され、幹事会の承認を経て所定の手続きをしたもの <p>(役員)</p> <p>第6条 本会に下記の役員をおく。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">会長</td> <td style="width: 10%;">1名</td> <td style="width: 25%;">副会長</td> <td style="width: 10%;">3名以内</td> <td style="width: 10%;">顧問</td> <td style="width: 15%;">若干名</td> </tr> <tr> <td>総務部長</td> <td>1名</td> <td>会計</td> <td>1名</td> <td>総務担当</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 役員会は、全役員で構成する。</p> <p>3 総務会は、総務部長、会計および総務担当で構成する。</p> <p>(役員を選出)</p> <p>第7条 会長、副会長、総務部長、会計、総務担当および監事は総会において正会員より選出する。</p>	会長	1名	副会長	3名以内	顧問	若干名	総務部長	1名	会計	1名	総務担当	若干名	監事	2名					<p>第1章 総則</p> <p>(名称)</p> <p>第1条 本会は、「東京都市大学緑土会」と称する。ただし、広報上は、「東京都市大学（旧武蔵工業大学）緑土会」と称することを原則とする。</p> <p>(目的)</p> <p>第2条 本会は、会員相互の親睦をはかるとともに、学術・文化の向上と東京都市大学の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>(設立)</p> <p>第3条 本会は、昭和4年9月1日に開校された武蔵高等工科学校土木工学科の同窓会組織として、昭和5年10月1日に設立された。その後、学校名称は、武蔵高等工業学校、武蔵工業専門学校、武蔵工業大学と変遷し、平成19年4月1日に東京都市大学となった。</p> <p>(所在地)</p> <p>第4条 本会の事務局は、東京都世田谷区玉堤 1-28-1 東京都市大学工学部都市工学教室内に置く。</p> <p>第2章 組織</p> <p>(会員)</p> <p>第5条 本会は、正会員、学生会員及び特別会員をもって組織する。</p> <p>2 正会員は以下の各項のいずれかのもので、会費を納入したものとす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都市大学工学部都市工学科および、武蔵工業大学とその前身校の土木系学科の卒業生 ・東京都市大学大学院都市工学専攻あるいは都市基盤工学専攻および、武蔵工業大学大学院土木系専攻の修了生 ・東京都市大学あるいは武蔵工業大学にて論文提出により学位を取得したもので、本人が入会を希望し、幹事会の承認を経て所定の手続きをしたもの。 <p>3 学生会員は、東京都市大学工学部都市工学科在籍学生および、他大学を卒業した本学大学院都市工学専攻在籍学生とする。</p> <p>4 特別会員は、以下のいずれかのもので、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都市大学工学部都市工学科および、武蔵工業大学とその前身校の土木系学科の現旧専任教職員 ・東京都市大学大学院都市工学専攻あるいは都市基盤工学専攻および、武蔵工業大学土木系専攻の現旧専任教職員 ・東京都市大学あるいは武蔵工業大学を途中退学したもので、本人が入会を希望し、幹事会の承認を経て所定の手続きをしたもの。 ・本会の目的に賛同し、正会員によって推薦され、幹事会の承認を経て所定の手続きをしたもの。 <p>(役員)</p> <p>第6条 本会に下記の役員をおく。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">会長</td> <td style="width: 10%;">1名</td> <td style="width: 25%;">副会長</td> <td style="width: 10%;">3名以内</td> <td style="width: 10%;">顧問</td> <td style="width: 15%;">若干名</td> </tr> <tr> <td>総務部長</td> <td>1名</td> <td>会計</td> <td>1名</td> <td>総務担当</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>監事</td> <td>2名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 役員会は、全役員で構成する。</p> <p>3 総務会は、総務部長、会計および総務担当で構成する。</p> <p>(役員を選出)</p> <p>第7条 会長、副会長、総務部長、会計、総務担当および監事は総会において正会員より選出する。</p>	会長	1名	副会長	3名以内	顧問	若干名	総務部長	1名	会計	1名	総務担当	若干名	監事	2名				
会長	1名	副会長	3名以内	顧問	若干名																																
総務部長	1名	会計	1名	総務担当	若干名																																
監事	2名																																				
会長	1名	副会長	3名以内	顧問	若干名																																
総務部長	1名	会計	1名	総務担当	若干名																																
監事	2名																																				

2 顧問は幹事会の推薦によって会長が委嘱する。

(役員の職務)

第8条 役員は、それぞれ次の各号に掲げる職務を行う。

会長：本会を代表し、会務を総理する。

副会長：会長を補佐し、会長から委託された業務を遂行する。又、会長が職務を遂行できない時は、その職務を代行する。

顧問：会長の諮問にこたえ、または幹事会に必要な助言を行う。

総務部長：総務会を代表し、会務を総括する。

会計：総務部長のもとで会計処理を行う。

総務担当：総務部長を補佐し、会務を実行する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

(学年幹事および代表幹事)

第10条 本会に下記の学年幹事および代表幹事をおく。

学年幹事

・卒業生数が50名を越えない卒業年次からは原則として各1名

・卒業生数が50名を越える年次からは原則として各2名

代表幹事

・若干名。ただし、代表幹事は学年幹事を兼務することができる。

2 代表幹事会は、総務部長、総務担当および代表幹事で構成する。

3 幹事会は、役員、学年幹事および代表幹事で構成する。

(学年幹事および代表幹事の選出)

第11条 学年幹事は、各卒業年次の正会員の互選により選出する。ただし、選出がなされない場合は、総務会の議を経て、総務部長が学年幹事を指名する。

2 代表幹事は、総務会の議を経て、総務部長が正会員より指名する。

(学年幹事および代表幹事の職務)

第12条 学年幹事は各卒業年次の会員を代表する。

2 代表幹事は総務部長および総務担当と協力して、会務を実行する。

(学年幹事及び代表幹事の任期)

第13条 学年幹事および代表幹事の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

(支部)

第14条 本会は、幹事会の議決を経て、必要に応じて支部を置くことができる。

第3章 会務

(会務)

第15条 本会は、下記の会務を行う。

総会、役員会、総務会(拡大総務会含む)、代表幹事会および幹事会を必要に応じて開く。

2 総会、役員会、代表幹事会および幹事会は会長が招集し、その議長となる。ただし、会長が不在の場合には、副会長が議長を務める。

3 総務会(拡大総務会含む)は総務部長が招集し、その議長となる。ただし、総務部長が不在の場合には、会議内容により担当の副会長が議長を務める。

第16条 総会

定例総会を毎年開催する。

2 顧問は幹事会の推薦によって会長が委嘱する。

(役員の職務)

第8条 役員は、それぞれ次の各号に掲げる職務を行う。

会長：本会を代表し、会務を総理する。

副会長：会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。

顧問：会長の諮問にこたえ、または幹事会に必要な助言を行う。

総務部長：総務会を代表し、会務を総括する。

会計：総務部長のもとで会計処理を行う。

総務担当：総務部長を補佐し、会務を実行する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

(幹事および代表幹事)

第10条 本会に下記の幹事および代表幹事をおく。

幹事

・卒業生数が50名を越えない卒業年次からは原則として各1名

・卒業生数が50名を越える年次からは原則として各2名

代表幹事

・若干名(ただし、幹事を兼務)

2 代表幹事会は、総務部長、総務担当および代表幹事で構成する。

3 幹事会は、役員および幹事で構成する。

(幹事および代表幹事の選出)

第11条 幹事は、正会員より選出する。

2 代表幹事は、総務会の議を経て、総務部長が幹事より指名する。

(幹事および代表幹事の職務)

第12条 幹事は各卒業年次の会員を代表する。

2 代表幹事は総務部長および総務担当と協力して、会務を実行する。

(幹事及び代表幹事の任期)

第13条 幹事および代表幹事の任期は3年とする。ただし、再任を妨げない。

(支部)

第14条 本会は、幹事会の議決を経て、必要に応じて支部を置くことができる。

第3章 会務

(会務)

第15条 本会は、下記の会務を行う。

・役員会、総務会、代表幹事会および幹事会を必要に応じて開く。

・総会を毎年開催する。

- 2 臨時総会は幹事が必要と認めた時に開くことができる。
- 3 定例総会には前年度の事業報告・決算、及び必要な事項について審議し承認を得る。また、幹事会で承認された当該年度の事業計画・予算および予算執行状況について報告する。
- 4 総会は会長の発議によって開催される。ただし、幹事の過半数が開催不賛成の意思表示をした時には総会は開催されない。
- 5 総会の議事は、出席正会員の過半数をもって決する。

(役員会)

第 17 条

- 役員会は、役員過半数又は会長が必要と認めた場合これを開くことができる。
- 2 役員会は、役員3分の2以上の出席により成立し、議事は出席役員3分の2以上により決す。
- 3 会長が求め出席役員3分の2以上が必要と認めた時、役員以外の者を出席させることができる。

(代表幹事会および幹事会)

第 18 条

- 代表幹事会および幹事会を必要に応じて開く。
- 2 定例幹事会を開催し、当該年度の事業報告・決算、次年度の事業計画・予算、及び必要な事項について、審議し承認を得る。
- 3 幹事会は、学年幹事の過半数の出席により成立し、議事は出席学年幹事の2分の1以上により決する。
- 4 出席役員2分の1以上が必要と認めたとき、学年幹事以外の者を幹事会に出席させることができる。

(総務会および拡大総務会)

第 19 条

- 総務会を必要に応じて開く。
- 2 総務会は、必要に応じ副会長、各部会長を加えて拡大総務会として開催することができる。

(部会の設置)

第 20 条

- 会長は必要に応じ役員会の承認を得て総務会に部会を設置することができるものとし部会の名称、構成、担当業務は会長が別途定める。
- 2 部会は基本的には代表幹事が職務(部会長・副部会長等)を担当し、部会員は本人の承諾の上、役員会の指名により正会員・学正会員・特別会員より選出する。
- 3 財務部会長、広報・校友会部会長は役員から選出する。

(その他)

第 21 条

- 講演会を開催し、また見学会を実施する。
- 2 名簿の整理を継続的に行う。
- 3 上記会務で学生会員に緑土会業務を依頼する場合には謝礼を支払うこととする。
- 4 その他、第2条の目的を達成するために必要な事業を行う。

総務会には、部会活動で特に必要な場合には副会長、各部会長を加えて審議するものとする

- ・ 会長は必要に応じ役員会の承認を得て総務会に部会を設置することができるものとし部会の名称、構成、担当業務は会長が別途定める
- ・ また部会は基本的には代表幹事が職務(部会長・副部会長等)を担当し、部会員は本人の承諾の上、役員会の指名により正会員・学正会員・特別会員より選出する
- ・ 財務部会長、広報・校友会部会長は役員から選出する

- ・ 講演会を開催し、また見学会を実施する。
- ・ 名簿の整理発行を行う。
- ・ その他、第2条の目的を達成するために必要な事業を行う。

第 4 章 学術文化基金

(設置)

第 16 条 学術文化の振興と、東京都市大学および本会の発展に寄与するために基金を設ける。

(名称)

第 17 条 本基金を緑土会学術文化基金(以下、基金という)と称する。

(運営)

第 18 条 基金の運営については別に定める。

第4章 会計

(経費)

第22条 本会の経費には、会費および寄付金をあてる。

(会費)

第23条 終身会費として、入会時に5,000円を徴収する。

(会計年度)

第24条 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日とする。

(監査)

第25条 監事は会計を監査する。

2 監事は、定例総会・定例幹事会において会計監査報告をするものとする。

(会則の改定)

第26条 本会則を改定する場合には、幹事会の議を経て、総会の承認を得るものとする。

附則

(1) 施行と改定

本会則は昭和41年10月1日より施行する。

昭和46年4月27日 一部改定

昭和49年11月8日 一部改定

昭和51年11月19日 一部改定

昭和55年11月22日 一部改定

昭和57年11月12日 一部改定

昭和59年11月2日 一部改定

昭和63年11月18日 一部改定

平成5年11月18日 一部改定

平成10年11月6日 一部改定

平成17年11月11日 一部改正

平成23年11月18日 一部改正 武蔵工業大学緑土会は、この改正により、東京都市大学緑土会に名称変更した。

平成28年3月11日 一部改正

平成28年11月12日 一部改正

(2) 会の役員

会の役員は、次の会員とする。

① 任期：平成21年4月1日より平成24年3月31日

会長 松下正勝
副会長 形山嘉宏, 草柳俊二, 片田敏行
顧問 神山光男, 小玉克己, 中部恭二
総務部長 丸山 收
会計 皆川 勝
総務担当 三浦 聡, 伊藤和也
監事 菊地孝明, 高田真人

② 任期：平成24年4月1日より平成27年3月31日

会長 草柳俊二

第5章 会計

(経費)

第19条 本会の経費には、会費および寄付金をあてる。

(会費)

第20条 会費として、入会時に5,000円を徴収する。

(会計年度)

第21条 会計年度は、毎年4月1日より翌年3月31日とする。

(監査)

第22条 監事は会計を監査する。

2 監事は、総会において会計監査報告をするものとする。

(会則の改定)

第23条 本会則を改定する場合には、幹事会の議を経て、総会の承認を得るものとする。

附則

(1) 施行と改定

本会則は昭和41年10月1日より施行する。

昭和46年4月27日 一部改定

昭和49年11月8日 一部改定

昭和51年11月19日 一部改定

昭和55年11月22日 一部改定

昭和57年11月12日 一部改定

昭和59年11月2日 一部改定

昭和63年11月18日 一部改定

平成5年11月18日 一部改定

平成10年11月6日 一部改定

平成17年11月11日 一部改正

平成23年11月18日 一部改正 武蔵工業大学緑土会は、この改正により、東京都市大学緑土会に名称変更した。

平成28年3月11日 一部改正

(2) 会の役員

会の役員は、次の会員とする。

① 任期：平成21年4月1日より平成24年3月31日

会長 松下正勝
副会長 形山嘉宏, 草柳俊二, 片田敏行
顧問 神山光男, 小玉克己, 中部恭二
総務部長 丸山 收
会計 皆川 勝
総務担当 三浦 聡, 伊藤和也
監事 菊地孝明, 高田真人

② 任期：平成24年4月1日より平成27年3月31日

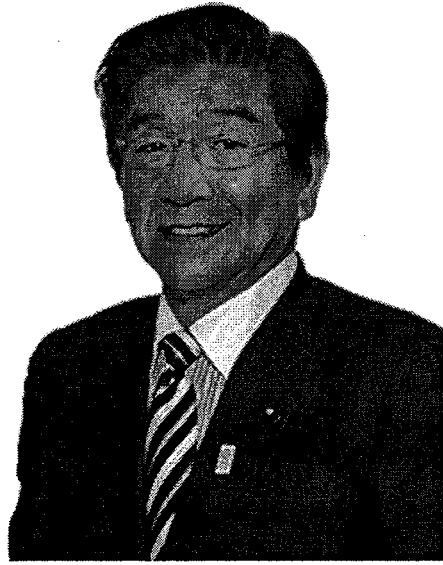
会長 草柳俊二

副会長 川口勝弘, 片田敏行
顧問 神山光男, 小玉克己, 中部恭二
総務部長 丸山 收
会計 皆川 勝
総務担当 三浦 聡, 伊藤和也
監事 菊地孝明, 高田真人

③ 任期：平成 27 年 4 月 1 日より平成 30 年 3 月 31 日

会長 草柳俊二
副会長 小林哲男, 皆川 勝
顧問 小玉克己, 中部恭二, 松下正勝
総務部長 丸山 收
会計 皆川 勝 (平成 28 年 11 月 12 日より伊藤和也に交代)
総務担当 三浦 聡, 伊藤和也 (平成 28 年 11 月 12 日より三浦聡から
渋谷重彦及び服部尚道に交代)
監事 菊地孝明, 高田真人 (平成 28 年 11 月 12 日より高田真人から
永尾浩一に交代)

副会長 川口勝弘, 片田敏行
顧問 神山光男, 小玉克己, 中部恭二
総務部長 丸山 收
会計 皆川 勝
総務担当 三浦 聡, 伊藤和也
監事 菊地孝明, 高田真人



講師：川井 重勇 氏（東京都議会議長，東京都議会議員）

演題：都政と日本

場所：東京都市大学 世田谷キャンパス 21C 教室

時間：15:00-15:45 進行：服部尚道（H04）

川井重勇先生 プロフィール

昭和46年3月武蔵工業大学工学部土木工学科卒業，民間企業勤務を経て，中野区区議会議員に初当選されました。平成9年東京都議会議員に初当選後，5期連続当選され，その間東京都における要職を歴任されています。平成25年には東京都議会 第47代都議会議長にご就任されました。

（写真等 川井しげおオフィシャルサイトから転用）

懇親会 式次第

司会 伊藤和也 (H10)

一、緑土会々長挨拶

草柳 俊二 (S42)

一、来賓ご挨拶

東京都市大学校友会会長

吉田 勝 (建築 S43) 殿

東京都議会議員・都議会議長

川井 重勇 (S46) 殿

一、乾杯

ご出席の最年長会員

ご歓談

一、学科近況報告

都市工学科主任教授

丸山 收 (S58)

一、校歌斉唱

一、閉会の挨拶

小林哲男(S47)

以上

平成28年度 総会・懇親会参加会員名簿

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
S31	小玉 克巳	S52	浅野 研一	S59	大木 唯嘉
S35	遠藤 正夫	S52	岡村 和之	S59	勝田 博敏
S35	山田 秋夫	S52	谷田 孝二	S61	工藤 雅史
S40	形山 嘉宏	S52	月居 茂	S62	松本 辰男
S40	田中 昭男	S53	薄井 光男	S63	穴澤 康之
S40	松下 正勝	S53	菊地 孝明	H02	岩永 直
S41	田矢 盛之	S53	黒沼 良彰	H02	椿 雅俊
S41	五艘 章	S53	田部井 哲夫	H02	本多 美智男
S41	佐伯 勲	S53	平本 公男	H02	吉川 直志
S41	舩越 靖彦	S54	荻野 聡	H03	田中 剛
S41	保坂 鉄矢	S54	林 克彦	H03	山口 正晃
S42	草柳 俊二	S54	高田 真人	H04	安済 信吾
S43	海野 英治	S54	皆川 勝	H04	永田 考
S44	青木 良雅	S55	小原 丈二	H04	永尾 浩一
S44	中埜 豊	S55	進藤 敏則	H04	服部 尚道
S44	福本 和正	S55	渡部 秀樹	H04	森川 昌哉
S44	宮寄 義昭	S56	石川 善信	H04	吉田 克弥
S46	川井 重勇	S56	大滝 充司	H07	齊藤 隆信
S46	野田 孝男	S56	太田 一三	H07	花上 幸弘
S47	猪口 豪	S57	安藤 慎一郎	H07	長野 竜馬
S47	大野 積	S57	河本 健	H07	山本 純
S47	小林 哲男	S57	松尾 史朗	H08	東 克己
S47	坂本 省三	S58	石原 正志	H09	金田 尚志
S47	篠原 久彰	S58	遠藤 憲司	H10	伊藤 和也
S47	田中 利郎	S58	河野 良典	H10	井上 雄城
S47	脇 登志夫	S58	五島 孝行	H13	小松 勇喜
S48	高橋 年秋	S58	齋藤 哲郎	H17	丸山 健司
S48	丸山 信	S58	渋沢 重彦	H21	和田 脩平
S49	海保 芳久	S58	品川 雅彦	H22	岩井 友里
S49	鈴木 高志	S58	萩原 秀司	H22	中島 弘貴
S51	仲宗根 茂	S58	丸山 收	H25	葉山 瑞樹
S51	原田 修輔	S58	谷嶋 雅夫	H26	関 洸志
S51	村田 慎吾	S59	相場 淳司		

ご招待者名簿

東京都市大学	名誉教授	増田 陳紀 殿
東京都市大学校友会	会長	吉田 勝 殿
東京都市大学校友会	副会長	原口 兼正 殿
東京都市大学校友会	副会長	松村 慶一 殿
東京都市大学校友会	事務長	小杉 雅克 殿

都市工学科 教職員

吉川 弘道	教授	(災害軽減・吉川研究室)
吉田 郁政	教授	(計画マネジメント・吉田研究室)
長岡 裕	教授	(水圏環境・長岡研究室)
白旗 弘実	准教授	(構造安全・白旗研究室)
栗原 哲彦	准教授	(構造安全・栗原研究室)
今井 龍一	准教授	(計画マネジメント・今井研究室)
田中 陽二	講師	(水圏環境・田中研究室)
佐藤 安雄	技士	(計画マネジメント)
斉藤 秀夫	技士	(災害軽減・構造安全)

都市工学科 教職員（卒業生以外は特別会員）

吉川	弘道	教授	(災害軽減・吉川研究室)	H28年度就職担当
皆川	勝	教授	(計画マネジメント・皆川研究室)	工学研究科長
吉田	郁政	教授	(計画マネジメント・吉田研究室)	専攻主任
長岡	裕	教授	(水圏環境・長岡研究室)	H29年度就職担当
丸山	收	教授	(災害軽減・丸山研究室)	学科主任
末政	直晃	教授	(地盤環境・末政研究室)	
中村	隆司	准教授	(計画マネジメント・中村研究室)	
白旗	弘実	准教授	(構造安全・白旗研究室)	
栗原	哲彦	准教授	(構造安全・栗原研究室)	インターンシップ担当
伊藤	和也	准教授	(地盤環境・伊藤研究室)	教務委員
今井	龍一	准教授	(計画マネジメント・今井研究室)	院教務委員
田中	陽二	講師	(水圏環境工学・田中研究室)	図書館委員
佐藤	安雄	技士	(計画マネジメント)	
齊藤	秀夫	技士	(災害軽減・構造安全)	
田中	剛	技士	(地盤環境)	

以 上

都市工学科 (JABEE 認定プログラム)

「本学の伝統および都市工学の使命に基づき、本学科の学習・教育目標」

- 1) 地球人としてのヒトの理解, 人間社会活動とヒトとの関係の幅広い理解を高め, 地球的視点から, 多面的に物事を考える能力とその素養を身につける。
- 2) 「公正, 自由, 自治」という東京都市大学の建学の精神を理解する。また, 都市工学技術者としての社会的使命を理解するとともに, 技術が社会や自然に及ぼす効果, 技術者が社会に負っている責任, すなわち技術者倫理について理解する。
- 3) 都市の刷新・再生, 都市環境の改善・創造を進め, 地域の特色を踏まえた安全で快適な都市の構築と持続的維持の中核を担う技術者としての, 素養を習得する。
- 4) 数学, 物理学などの工学的基礎とそれを応用できる能力を習得する。
- 5) 高度情報化社会に対応できるようにコンピュータと情報処理の知識と技術を習得する。
- 6) 都市工学の基礎となる力学を応用できる能力を習得する。
- 7) 都市施設の設計と構築に関する基礎を習得する。
- 8) 都市のデザイン, 環境, 防災に関する基礎知識を習得する。
- 9) 実験, 実習, 演習, ゼミナールなどの体験的な学習を通じて, 実験の適切な実施, データの正確な解析, 考察の能力とともに, 主体的に取り組み, 創造し, 問題を解決する能力を習得する。
- 10) 社会の動向に鋭敏な感覚を養い, 自主的に課題を探究し, 専門知識, 技術を総合して解決するエンジニアリングデザイン能力を習得する。
- 11) プレゼンテーション能力, 語学力を十分に修得し, コミュニケーションのための基礎能力を高める。
- 12) 社会の要請に応じた事業を計画し, 実施管理し, 説明責任を果たすといった実務上の問題を理解し対応する基礎能力を習得する。
- 13) 制約のある中で計画的に対処し成果をまとめ, 実社会に進んでからも吸収力, 応用力のある心身堅固な技術者の素養を習得する。

H28年度 都市工学科の近況ご報告

学科主任：丸山 收

1. 土木技術検定試験で全国1位の合格者数を達成!

都市工学科および都市工学専攻では、去年度の土木技術検定試験で89名の合格者が出ました。これは平成27年度の所属別合格者数で全国1位の人数です(本学調べ)。都市工学科では、学生の学習到達度・質保証の確認のために、受験を推奨しています。

2. 第43回土木学会関東支部技術研究発表会開催

3月14日(月)、15日(火)に第43回土木学会関東支部技術研究発表会を世田谷キャンパスで開催しました。土木工学、土木技術に関する研究や現場報告などの発表を中心に、特別講演会、交流会が行われ、500編を超える研究発表が行われました。本学からも多くの学生が発表して、1名が優秀発表賞を受賞しました。

3. 第51回地盤工学研究発表会 優秀論文発表者賞を受賞

第51回地盤工学研究発表会において、3名の学生が優秀論文発表者賞を受賞しました。

4. タマサート大学とのセミナー開催

さくらサイエンスプログラムで、本学学生10名がタイ国タマサート大学を訪問して、研究発表を行いました。

5. 大学院都市工学専攻 「社会基盤マネジメント」スタート

大学院工学研究科都市工学専攻の「社会基盤マネジメント」がスタートして、修士課程14名、博士課程5名が入学しました。

6. 東京都市大学が「世界大学ランキング」にランクイン!

大学ランキング801+ (800位-1000位)に初登場しました。大学の数は、概数ですが日本は750校、世界では18000校?。2030年には300位以内を目指しています。

武蔵工業大学校歌

校歌制定委員会 編詩

梶山 三郎 作曲

ふよう たかね
芙蓉の高嶺仰ぎみて 科学の真理極めんと いさを はな めぐ
功績の精華は回りきて

多摩の流れの水清き 技を練り^{わざ}技を磨きつつ 白亜は蒼く苔むせど

世紀の園に咲き出づる 共にいそしむ^{とわ}雪の 星霧永久に限りなき

武蔵工大その名こそ 武蔵工大その名こそ 武蔵工大その名こそ

智の泉なり光なれ 自治と自由の^{しるし}象徴なれ 我が青春の故郷なれ

武蔵高等工業学校校歌 武蔵工業専門学校校歌

大江素天 作詞

草川宣雄 作曲

丘陵 環り伏し 新興日本の 工業日本の 玲瓏魂は

多摩の流れの澄むところ 若き姿は 輝けり 進む彼方に 神秘あり 強く正しく 鍛へたり

武蔵高工 誇り建つ 燃ゆる希望に智と技を 光る力に その扉 重き使命に 心身を

讃へんいざや 我等 磨かん我等 ともに 開かんいざや 我等 しさげん我等 ともに

いざや 我等 我等 ともに いざや 我等 我等 ともに

武蔵高等工科大学校歌

相馬御風 作詞

山田耕作 作曲

世界に輝く大東京の 静かに更け行く夜天の下に 仰げば東空雲紫に

文化と自然の綾なすほとり 自ら省み世の^{さま}態おもう 燦たる希望の日ぞ今昇る

玲瓏塵なきあしたの空に われらが胸には燃え立つ抱負 日に日に栄行くわれらが母校

自治こそひらめけ吾が三色旗 公正自由の精神を生命 日に日にさやけきわれらが理想

われらが目ざすは創造一路 邁進やまざる吾等が肩に いざいざわが友意気高らかに

凜たる学徒の雄姿を見よや 使命は大なり行手は遙か 前人未拓の道開かばや

東京都市大学校歌は、武蔵高等工科大学校歌を復活したものです。

震災後のサポートとまちづくり

— 福島県いわき市久之浜・大久地区での実践とこれから —



□主催

東京都市大学 校友会

□日時

2016年11月27日(日)

受付 13:00より

セミナー13:30~15:30

□会場 東京都市大学
二子玉川夢キャンパス

二子玉川ライズ・オフィス 8階
(東急大井町線・田園都市線
「二子玉川」駅前)



□対象 一般
(入場無料)

□概要

2011年3月11日に起きた災害は、地震・津波・火事・原発事故により様々なものを破壊した。震災後のサポートをまちづくりや文化、コミュニティーにフォーカスして福島県いわき市久之浜・大久地区でおこなってきた「まちづくりサポートチーム」と「ふるさとだより」の活動を中心に紹介する。震災後のまちを舞台とした小学校での「まちづくり総合学習」や震災後一貫して被災者にまちの情報を送り続けた「ふるさとだより」などから、今後のサポートの参考になる点を見つけれられるのではないだろうか。

□講師

栗田祥弘氏 [建築家、(一般社団法人)まちづくりサポートチーム代表理事、東京都市大学非常勤講師
武蔵工業大学(現東京都市大学)工学部建築学科卒業(平成10年)]

基真由美氏 [建築家、(一般社団法人)まちづくりサポートチーム代表理事、東京都市大学非常勤講師
武蔵工業大学(現東京都市大学)工学部建築学科卒業(平成12年)]

鈴木伴栄氏 [福島県いわき市「ふるさとだより」記者(久乃浜・大久地区担当)]

□受講お申し込み先(お問い合わせ先)

受講のお申し込みは、11月22日(火)までに
以下へご連絡をお願い致します。
(氏名、卒業年・学科)

東京都市大学 校友会事務局
e-mail: koyukai@tcu.ac.jp
Tel: 03-3703-3862
Fax: 03-3703-4595

